

## 2019（令和元年）第12回奥出雲町教育委員会定例会会議録

日 時 令和元年12月18日（水）  
 開 会 15時00分  
 閉 会 16時30分  
 場 所 横田庁舎 三階 第二委員会室  
 出席委員 福田充雄教育長職務代理者 荒金勇吉教育委員  
 谷尻圭子教育委員 高橋美奈教育委員 塔村俊介教育長  
 委員会事務局 堀谷智樹教育魅力課長 永瀬克己結婚・子育て応援課長  
 長谷川史郎教育魅力課長補佐

塔村教育長

（挨拶）

・東京五輪聖火リレーについて

＊奥出雲町は三成公園陸上競技場を出発してカルチャープラザ仁多の方へゴールするルートを公表させていただき、実施する予定。

・三成小学校改築事業等検討状況について

＊先月皆様からいただいたご意見や、議会で意見交換をした意見、議会視察で東北の再編を行った学校を視察され、その報告を受けた中での見直し、検討を加えたものを今回提示する。

※開会宣言 教育委員の出席者数を確認し、会議の成立を宣言

※会議録署名委員 荒金委員

《議事》

①報告第10号 奥出雲町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の全部を改正する条例制定について

②報告第11号 奥出雲町家庭的保育事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について

（資料により説明）

事務局

谷尻委員

・病児・病後児保育施設とはどういったものか。

事務局

・奥出雲町の病後児保育施設は、該当でない。保育の必要性がある方で、例えば重度の病気がある児童が入所する保育施設が該当になる。奥出雲町の病児保育は、

	<p>通常の保育所に入っていて病気の時にだけ利用される形。 (その他、質疑なし。報告終わり)</p>
事務局	<p>③報告第12号 三成小学校改築事業の見直し状況について(経過報告) (資料により説明)</p>
	<p>A案=仁多中隣接地(法面処置あり) B案=代替地 C案=現三成小敷地</p>
塔村教育長	<ul style="list-style-type: none"> <li>先月はおおまかな計画で期間、方法など提示し、ご意見をいただいた。今回は、もう少し学校面の影響や金額等の詳細を提示した上で、ご意見を聞きたい。期間はどの案にしてもかかってしまうということと、予算が奥出雲町の財政規模でいうとかなり大きなものになるというところがある。</li> <li>本来であれば、中学校等の考え方の整理もあるが、それについてはさらに費用も見込まないといけないということがある。将来的な小中一貫学校ということも考えてきたわけだが、一旦それは整理をしながら、本来の小学校再編のところに立ち戻って「何のために」「小学校再編にとってどういう形がいいのか」「安定した小学校運営を進めるためにどうしたらいいのか」ということを含めて考え直すべきだと考えている。</li> <li>最終的には、今回の資料も公開し、様々なご意見をいただきながらやっていきたいと思っている。</li> <li>現状、土地的、金銭的な制約があり難しいところが多いと思っている。</li> </ul>
谷尻委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>C案のところで『三成児童館と隣接する』と書いてあるが、あそこは三成児童館なのか。</li> </ul>
塔村教育長	<ul style="list-style-type: none"> <li>三成児童館ではない。旧三成幼稚園跡地である。訂正する。</li> </ul>
福田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>例えば、仁多中隣接地というのは、後ろ(山側)を削るということを考えているのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>削る量をどれだけにするのか、ということはある。</li> </ul>
福田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>とりあえずレッドゾーンはなくなるがイエローゾーンは残ることになるのか。</li> </ul>
塔村教育長	<ul style="list-style-type: none"> <li>イエローゾーンは残る。現在、奥出雲町のエリアはほとんどイエローゾーンにな</li> </ul>

	<p>る。かんな流しで切り開いた土地は削ってしまっているからイエローゾーンになっていない。三成の連担地はほとんどイエローゾーン。三沢でいうと、三沢も町中はイエローかレッドで、かんな流しをしていた鴨倉エリアはイエローゾーンから外れている。奥出雲町というか、中山間地はそういった土地になる。しかし、（候補地について）レッドゾーンは外さないといけない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イエローゾーンでも、土石流と急傾斜地も被害の状況の意味合いが違う。急傾斜地の場合は、崩れれば流れ込んでくる可能性があり直接的な被害がある。土石流の場合は基本的には川も岸もなっているので、現在の三成小の場所で土石流に巻き込まれた場合は、役場も含め全部流される。そういったことが想定される。</li> </ul>
谷尻委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和8年～9年まで待つのか。それまで子供たちの教育が待てる時期まで来ているのかというのを心配している。お金のこともあるかもしれないけど、それまで今の教育をずっとやっていっていいのかというのがすごく引かかる。するんだったら1年でも早くがいいのではないかな。それを分かってほしい。今年何人生まれているか。</li> </ul>
塔村教育長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度、59人だった。今年度も60人をきると思う。</li> </ul>
谷尻委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・しかも、極端に偏っている。来年、幼稚園申込みが横田と三成で100人違う。その子供たちが6年後には小学校にあがる。早くしたほうがいいのではないかな。三成小学校の敷地でも体育館を新しく建ててもいいのではないかな。設計の段階でも。</li> </ul>
塔村教育長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ただ、補助金のメニューがない。全部自費でやることになる。全部いっしょになったとしても2クラスになっていくところもあると思う。ただ、50人とか60人ではなく40人とかという話になる。例えば、36人から2学級になったりもするが、そこについては合同授業とか現実的にはある。A案（仁多中隣接地案）と比べても（C案は）仁多中と体育館を共用するよりは足りないということはないと思っている。</li> </ul>
荒金委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そもそも学校再編の話を始めたのが、子供たちがある程度の規模の中で学ぶことが一番優先だったということを考えると、今ご意見言われたように早ければいいわけではないかもしれないが、それを優先するということであれば、例えばC案のところで早くそういう環境を整えてあげるというのが、一番ストンと落ちる（納得できる）かなという気がする。</li> <li>・あまり事業費を気にしていなかったが、A案、B案でしたところで特段C案が劣るというのは、人数規模のうえではないわけだし、町の中で大人たちの暮らしを見ながら小学校時代を過ごすというのも悪いことではないのかなと思う。やはり町の人の暮らしを肌で感じるということも大事なポイントだと思うので、現敷地というのはそんなに悪くないのではないかな。規模のことはあるが、今までそれを</li> </ul>

	否定しながら話をしてきたので苦しいところはあるが。
塔村教育長	・（現三成小の）周辺環境とか教育環境の変化とかを優先させていただいた事実は、説明会の中でもあった。我々が思っていた以上に単なる箱で完結する話ではなくて、どういうところであるべきかというところは興味を持っていたというのか、重要なことではないかという意見はあった。
高橋委員	・現敷地ではなく、仁多中隣接地になる予定だった本当の理由は何だったのか。防犯だけではなく、どういう理由で最初にC案を否定されていたのか。
塔村教育長	・元々の改築案は、現在の耐震化がされていない普通教室棟の東校舎の所を耐震化するということしかうたわれていなかった。それを壊して新しくするというと、現在6教室分しかなかった。
高橋委員	・その時に今のような案（C案）は全く出なかったということか。
事務局	・最初は現敷地で建て替えを協議していた。設計も試したが、その時は十分な施設ができないのではないか、防犯上のことも解決しないのではないか、プラス中学校隣接地に移転すれば施設の共用をしながらグラウンドなど他の授業で使える施設面では改善できる場所も大きい、と判断した。ゆくゆくは小中一貫の義務教育学校の可能性も含めて選択肢がある場所であるというところから提案をさせていただき、話を進めていった認識がある。
塔村教育長	・最終的に、より仁多中の方がいいという判断だった。
高橋委員	・なんとなくだが、説明会では全く触れられなかった「義務教育学校の話」があったのではないかと一般の人は思うのではないかと。今さら何でこっちになるのか、相当な理由がないと「（教育委員会は）これは駄目と言っていたのではないかと」ということにはなる。
事務局	・この場所（C案）で建て替えてしまえば、義務教育学校であったり小中連携校ということは可能性がゼロになってしまうという判断であった。
塔村教育長	・（C案では）いきなり義務教育学校になるのは物理的に不可能になる。今の仁多中の隣にあれば施設的には整うので、いこうとすれば制度上の話だけでクリアできる。現在の三成小の場所ならもう一回三成小が移転するか、仁多中が隣に建てるしかないのか、かなり長期間の中で計画せざるを得なくなるという判断であった。
事務局	・イメージとしては、適切な表現ではないかもしれないが、C案を選択するのは消極的選択になると思う。本当だったらすべてを仁多中隣接地に建てられれば良かった

	<p>たが、今は最初の13億円ではもうできない、それを今やろうと思うと28億円までいくという条件が変わってしまった現状がある。それでもそこという選択肢があるとは思いますが、その他の選択肢も踏まえた上で、あとは総合的に期間を延ばしてでもこっちなのか、お金をかけてでもこっちなのか、思っていたことができないかもしれないけどこっちの方がベターではないかという判断をせざるを得ない状況だという気が、あくまで私見であるが、する。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当時、仁多中隣接地の敷地がハザードマップの中でも白地であって、連担地よりも安全だということも判断要因のひとつだった。しかし、ハザードマップが見直されたら同じイエローであってレッドが少し食い込むということになってしまった。</li> </ul>
塔村教育長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本来ならば、お金がかかってもA案でいくべきだというのが本筋だと思う。ただ、安全性の面でクリアできないことが出てきたというのが大きい。さらにもう一回中学校に投資するのかということもある。</li> </ul>
福田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気になっていることがあるが、これは三成小学校の改築事業だよね。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場所が三成小学校の現敷地であって、建てる物は仁多地域の新たな再編後の小学校ということになる。</li> </ul>
塔村教育長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その表現は調整する。前提として仁多小学校（仮称）建設計画とか</li> </ul>
福田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それがないと校舎の規模が全く違ってくる。</li> </ul>
塔村教育長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校舎規模は仁多小学校（仮称）になった規模で計画している。</li> </ul>
福田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この内容は、議会には相談はしているのか。</li> </ul>
塔村教育長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ここまでの資料提示はしていないが、これまでの話や3つの選択肢は提示している。大雑把な金額を出しているので、倍以上くらい変わってくるのではないかという話はしている。</li> </ul>
福田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・谷尻委員が言われるように早い方がいいのではないかなと思わなくもないが、ただ説明会で出た意見をもう一度見てみると、納得してもらえるのに2年かかると思う。資料をどういったものを出すかにもよるが、それが出てからの云々ということになると、少なくとも4年かかる。</li> <li>・個人的には、見直したときに最低5年かかると思う。それくらいかけて議論してかからないと揉めていって、どうするんだということになる可能性がある。例</li> </ul>

	<p>えば、魅力化協議会の会議で子どもの姿を引っ張りだして、それを育てる為に学校がどうあるべきなのかという話を片方でしていきながら建築の話をしていかないと、おそらくまたビジョンはどうなっているのかという話が必ず出てくる。</p>
谷尻委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報協会の番組で出るのは、今の奥出雲町の魅力は何かということ子ども達に伝えるための子ども教育魅力化の話だけど、それが極小規模でもすごいということです動きばかりをピックアップされ放映されているから、これでいいのではというのが気になっている。本当は・・・というのが隠されている。表に出てこない。それを見ている地域の皆さんは、何でいけないんだろう、高尾は、三沢は（小規模で）何でいけないのだろうというのが出てきてしまっている。そういったことが番組を見ていてすごく感じる。</li> <li>・教員の皆さんはがんばってやってもらっているけど・・・というところが抜けている気がする。楽しみながら見ているが、悲しいところがある。本当の教育というのは、視察した県西部の小学校がそうだったが、すごく寂しかった。みんなが頑張っておられるんだけど、本当に寂しかった。</li> </ul>
福田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そこは地域がすごかった。</li> </ul>
谷尻委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やるせない気持ちで帰ってきたことを覚えている。高瀬川を見るたびに思い出す。それをみんなに見てほしい、知ってほしいというのがすごくある。もう少し情報発信を教育委員会ですくましくしてほしい。</li> </ul>
塔村教育長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そこについての情報発信は消極的にするつもりはない。それは今の子ども達の状況と「そもそもどうあるべきか」というところは違う観点になる。高尾小については、全国的な活動をしている中で、高尾地域の方や地域外の方がどう思っているかということと、当事者も考え方は変わってくると思う。「(現状では)駄目だ」ということばかりしか(情報発信)できなくなってしまう。それはちょっと違う。</li> </ul>
谷尻委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駄目だということを表に出しているわけではないが、何か違う。今(協議が)ストップしているからまた一から始めないといけないということが再来年起こったらとても悲しい。今のうちだからこそ話し合うことがもっと大事ではないか。休眠期ではなく、情報共有期ではないかと思う。</li> <li>・60人前後しか生まれていない今の子供たちが12～3年後には中学生になる。その前の段階で、6年経つと小学校にあがる。</li> </ul>
高橋委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・横田地域は校舎の問題はないので、協議が進められるのでは。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先月と同様のことを言うかもしれないが、再編方針を説明する立場として、教育</li> </ul>

	<p>委員の皆さんと町長と教育長も含めて決めていただいてスケジュールを示させていただいている。それが「2020年4月に仁多、横田地域それぞれで再編したい」という提案であるが、そこが変わってくる。横田地域は変えないので先に進めますという話になるかどうか分からない状態なので、教育委員会と地区のやり取りは止めさせていただきますという判断をしている。委員の皆さんの言われるような（住民の方が様々情報等を）知った方が良いという時期だというのは非常によく分かるが、やり取り自体を教育委員会ができなくなる。提案いただいても、それでいきますとの判断はできない。要望や意見は聞いては帰れるが、そこまでしかできない。</p>
高橋委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そこで止まるということか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「地区の話し合いをしないでください」と止めたことはない。</li> </ul>
高橋委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この計画が最速でも横田は令和6年になるということか。早いほうがいいのに。</li> </ul>
塔村教育長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それを含めての話になる。それはこの後、協議する必要があるということが一番大きな所。動かすことはできるけど、ではどこを目指していくのか。最速でやっていくのか、それとも一緒にのタイミングを目指していくのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一番最初に9月議会で説明した時には、改築の話はある程度詰めてそれを元に再編方針のスケジュールをどう修正するかの話をして、総合教育会議をして、おそらくそれが早くても2月になる、それができたらこれで行きますという話ができれば良いと思っているが、その方法で本当にいいのかという話もある。「修正をしました」と（住民へ）出すのか、「修正を（住民）みんなでやります」と出した方がいいのかという話になるかもしれない。そうすると、今安易に各地区からの話を聞くことと、あとあと余計に難しくなる。また（住民と）すれ違ってもまずいという判断で止めたということもある。</li> <li>・教育委員会としては、早く修正して示しほうがいいとは思いますが、各地区の方からは、地区の説明会をした時にも、もっと決まる前に話をしたかったと言われていた。そこがなかなか難しい。そこに時間をかけていたら何も進まないこともある。そのバランスということが非常に難しくなっていて、さらに敷地の話もあったりして難しいと思っている。</li> </ul>
塔村教育長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的には意見が多様化している中で、この（改築）工事を含めて混乱しているなかで進んで、議論の収集がつかなくなるという可能性がある。これが最終案かということについては、また違う。変更が可能だということはある。協議の期間も開校の時期についても変わってくるだろうと思う。</li> <li>・ただ、改築、再編がどうあるべきかということについては、町としての第一案と</li> </ul>

	<p>して示すつもり。</p>
福田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やっぱり示さないといけない。</li> </ul>
塔村教育長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そこへの賛成反対はもちろんあるが、ゼロベースでどうあるべきか。学校再編の個々の考え方についても、どっちでもいいので一緒になるかどうか決めてくださいというものではない。教育委員会としては、こういった状況を見ると再編を進めていくべきだというなかでの話し合いだと思っている。言い方や受け止められ方はもちろんあると思うが、指針は示していくべき。その修正の中には、福田委員のご指摘のようにどういう観点でやっていくのかというのは、これまでも教育委員会で積み上げてきたものもありながらも言葉ではなかなか表せない部分があったので、そういったことを含めて、一番頭のほうで改めてこういったことを目指していきますというのは唱っていくべきだなという考え方ではある。</li> <li>・本来はゼロベースで積み上げるが理想であると思うが、現実的にはなかなか進まない。</li> </ul>
福田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・阿井に話をした時に、どこで休憩をするかという話になった。好き勝手なことを話ししていても要望は言えるかもしれないけど、それがどうだという話ではできない。教育委員会はいろんなことを考えた上で示すであろうから、それを元にして話をしようという考え方になった。基本的には、何もないところでどうするのかという話をしても、少々叩かれるかもしれないけど、ある程度こういったものにしたいというのを出さない限りは多分議論にはならない。</li> <li>・議論の中に地域の分もいるし、もう一つ学校の先生達も地域に入れるというわけではないけど、子どものことについて直接責任を持っている教員たちが議論してもいいのではないかな。横田中学校が統合するときに、学校の教員に考えを出させろと言われたことが非常に残っている。あの時、横田を統合するときには学校の教員が出てきて教員だけが話をした場面もあったりもしたと思う。地域での話し合いもいるし、校長会、教頭会での話し合いもあるかもしれない。校長会がどうか聞いてみたい気もする。いずれにしても何らかのものを示さない限りは議論にはならないと思う。示す中には、奥出雲の教育をこうしていきたいというある程度のものを見ながら、そのためにはこうだというものを持っていかないと。片方でこれも考えていきながら、もう片方で夢をどう描くかということを考えていきながら併せてこんなふうにしたいということを示すことが大事になる。</li> <li>・魅力化協議会で子どもの姿は出てきたけど、それをどうして育てるんだということまで持ってこないと本当の役割を果たしたことはない</li> <li>・本当は仁多中のところ（急傾斜地）を全部削ったら一番いいのだが。</li> </ul>



谷尻委員	・先月の会の時に、仁多中のところを削ってはだめかと言ったが、こんなに時間がかかるとは。
事務局	・全部削ったら、もっと（費用と時間が）かかる。
福田委員	・C案の場合、ランチルームはどうなるか
塔村教育長	・ランチルームは壊してもう一回建てる。その中に入れる。そうなるのがベストの形だと思う。それは前回よりも一歩踏み込んだ。元々は例えば、古い校舎は壊す、もう一方は残す、さらにランチルーム隣に新校舎を建てるという計画だった。それよりは、ランチルームをもったいないが壊してというのがいい案だということは踏み込んでいる。
福田委員	・そうでないと使い勝手が悪い。
塔村教育長	・さらに言うと、金額は上限値で組んでいるので、全体の組み合わせ自体によっては教室数が12クラスではなくて6クラスになるかもしれないという状況は出てくると思う。そんなに大きく変わるようなことはない。
福田委員	・例えば、今の三成小学校に建てた場合に教室数がどうなっていて、特別教室がどうで教員数が配置として今予想できるのがどうなのかということも多分シミュレーションしないと、議論するときに具体的なものがイメージがわからないような気がする。親にとっては今の学校のイメージがあるわけで、それがこうなった時にイメージが持てるようにしないといけないかなという気はする。考えてみると、自分が横田小学校に勤めた時に当時全部2クラスだった。クラス同士でケンカ、競争したりもした。
塔村教育長	・その時は校舎をどうしていたのか。足りていたのか。
高橋委員	・旧校舎だった。
福田委員	・2クラスはあった方がいいなという思いはある。
塔村教育長	・ただ、横田は一緒になってもなかなか（1学年2クラスに）ならない。
荒金委員	・10人以下のクラスに学校訪問に行き、がんばってしておられるが、その後30人規模の学級を見ると「これだ」と思う。グループに分かれて意見を言い合うことをしていても、いろんな意見が出てくる。新たな意見に気づいた子どもの顔は印象的だった。

谷尻委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1人や2人のクラスはそれがない。先生達はがんばっていると思うが、子ども同士の手力というのはすごいものがある。やっぱり2クラスはいると思う。</li> </ul>
塔村教育長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ もう少し資料の修正をしながらのところで来月のところでだいたいの方向性に向けての集約をさせていただきたいと思う。それは、ぜったいこれでいくという堅い案ではないイメージでいる。もちろんそれが第1案として提示させていただきながら、教育委員会としてはこれを元に進めていきたいと思うような位置づけのものを決定させていただきたい。</li> </ul>
谷尻委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ さっき福田委員が言われた、先生達の本音を聞きたい。私たちや保護者がいるととても言いにくいと思うけど、複式学級をして本当にどう思ったのか、あなたの持っている力が出せたのか。</li> </ul>
塔村教育長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ それは、先生方も分かっている。</li> </ul>
谷尻委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ そうだと思う。でも、保護者がいると言えない。つらい立場におられる現場の先生達だと思う。保護者が先生にどう思っているのか聞いている。</li> </ul>
塔村教育長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 先生達の意見は大事だと思っているが、基本的にはそういった考えだということが大前提になる。今の状態でベストを尽くすことはやっておられる。</li> </ul>
谷尻委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 奥出雲町外に出られて初めて本音が聞けるということになる。</li> </ul>
塔村教育長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ただ、(想定)の反対の事も言われる。それは、現状の肯定(複式学級のよさなど)なので言いやすい。それではいけないということは現状否定になるのでなかなか言いづらいということはあると思う。どこかの限界はある、教育上の限界はあるというのは皆さん思っている。一般論として、ある。</li> <li>・ 逆になるが、少なければ少ないほど先生の技量に依存してしまうだろうと思う。子ども同士で学ぶということも良い在り方だと思う。</li> </ul>
福田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ やっぱり「子どもは子どもの中で育つ」。それは間違いない。</li> </ul>
塔村教育長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ それは、今回の一番に出てくる考え方だと思う。来月のところで建設について方向性を出させていきながら、それを受けてさらに再編方針の一部修正の案等を詰めて、1月からまた具体的に進めさせていただいて、2月あるいは3月に入るかもしれませんが、そのところで一部修正を含めた考え方を整理したものを教育委員会の考えとして出させていただく手順と思っている。</li> </ul>

事務局	<p>(その他、質疑等なし)</p> <p>&lt; 次回定例会は1月22日(水)午後4時30～ &gt; (以上、定例会終了)</p> <p>会 議 録 署 名</p> <p>荒金勇吉 塔村俊介</p>
-----	--